

高等学校 情報科シラバス

「2年間のねらい、学習目標」

情報 C では、情報教育の集大成として、「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報社会に参画する態度」のすべてが身につけていることを目標とする。特に「情報社会に参画する態度」を十分身につけさせるために、情報化の進展が社会に及ぼす影響や情報モラルのさまざまな側面について理解させ、情報社会に参加する上での望ましい態度を育てる。それとともに表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを効果的に活用する能力を養うために実習を行う。その過程で調べたり、比較・考察したりすることで、課題や疑問の解決に応用できる情報収集力や情報発信力なども養う。

学年	第2学年	教科書	日本文教出版「豊かなコミュニケーション 新・情報 C」
		副教材	オリジナルプリント

学習到達目標

- 文字、数値、画像、音などの情報のデジタル化の仕組みを理解して、情報を科学的に理解する能力を身につける。
- 情報機器の種類や機能や特性を理解して、多様な形態の情報を統合的に扱える能力を身につける。
- 情報通信ネットワークの特性を理解して、情報を効果的に扱える能力を身につける。
- 情報を共有するための取り決めや技術を理解して、情報を効果的に活用する能力を身につける。
- コンピュータを道具として活用し、さまざまな情報の収集と発信を行いながら、情報の活用法を身につける。また文書作成や表計算などの操作技術について学び、パソコン操作の基礎知識（リテラシー）を身につける。

学習方法

プレゼンソフトを活用した授業で、情報機器など情報社会に関する知識を視覚的に身に付ける。また、情報の特性について理解し、情報の受信、発信に関する心構えや情報社会に参画する態度について自分自身で考えさせる。情報社会の変化に対して受身にならず、自分自身で考え、積極的にかかわる姿勢を身につける。パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト、プレゼンソフトを活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点と補講等
1 学期	1. 導入	1. キーボード配列やホームポジションキーなどの知識を身につける。	
	2. 第1節 わたしたちの暮らしの中の情報	①情報の特性について理解する。 ②日常的に接するマスメディアの特徴を理解し、多岐にわたる「メディア」という言葉の意味を理解する ③暮らしの中の情報の利用方法を学ぶ ④暮らしの中で目的にあった情報を適切に選択できるようになる。	ノートとプリントへの記入・授業態度・案内文、学年だよりの作品点・期末考査で評価する。
	3. 身のまわりの情報機器	①情報機器について理解する。 ②アナログとデジタルの違いを理解する。 ③デジタルデータへの変換のしくみを学ぶ。 ④情報量を表す単位について理解する	
	4. 実習	①案内文を作成する ②学年だよりを作成する	

2 学期	1. 第2節 情報のデジタル化 2. 実習	①画像、動画、音などのさまざまな形態の情報をデジタル化する手順を理解する。 ②情報のデジタル化の利点と問題点について自分自身で考えまとめる。 ①文集を作成する	ノートとプリントへの記入・授業態度・文集の作品点・期末考査で評価する。
3 学期	1. 第1節 社会で利用されている情報システム 2. 第2節 ネットワークのしくみ 3. 実習	①さまざまな情報システムについて調べ、情報システムの種類と特徴について理解する。 ②情報を正確に安全にやり取りするための工夫を理解する。 ①効果的で安全なネットワークの仕組みを理解する。 ②情報を共有するための取り決めや技術を理解する。 ③電子メールの仕組みを理解する。 ④セキュリティについて理解する。 ①計算ソフトを活用して、成績表を作成する	ノートとプリントへの記入・授業態度・文集の作品点・期末考査で評価する。

学 年	第3学年	教科書	日本文教出版「豊かなコミュニケーション 新・情報C」
		副教材	オリジナルプリント

年間シラバス (1年間の学習予定表)

1 学期	1. 第1節 広がるコミュニケーション 2. 第2節 さまざまな表現 3. 実習	①情報化の進展によるコミュニケーションの変化を理解する。 ②デジタルコミュニケーションの特徴について学び、デジタルコミュニケーションの問題点について考える。 ①デジタル技術による表現活動の変化を理解する。 ②表現に伴う権利と責任について学び、自分自身で考える。 ①表計算ソフトを活用して、クラス名簿を作成する ②文書作成ソフトと表計算ソフトを活用して、差し込み文書を作成する	ノートとプリントへの記入・授業態度・文集の作品点・期末考査で評価する。
---------	--	--	-------------------------------------

2 学 期	<p>1. 第3節 プレゼンテーションによる表現</p> <p>2. 第1節 総合実習の進め方</p> <p>3. 第2節 総合実習の実践</p> <p>4. 第3節 総合実習の実践例</p> <p>5. 実習</p>	<p>①効果的なプレゼンテーションの方法を習得する。</p> <p>②プレゼンテーションを見聞きする側の振る舞い方を身につける。</p> <p>①総合実習の意義や実習の流れを理解する。</p> <p>②実習の流れを理解して、総合実習に取り組む。</p> <p>③総合実習のプロセスや成果をまとめて残す。</p> <p>①プレゼンソフトを活用して、お菓子作りのスライドを作成する。</p> <p>②プレゼンソフトを活用して、電子絵本を作成する。</p>	<p>ノートとプリントへの記入・授業態度・文集の作品点・期末考査で評価する。</p>
3 学 期	<p>1. 第1節 情報化の恩恵</p> <p>2. 第2節 情報化が内包する問題</p> <p>3. 第3節 自分なりの意見をもとう</p>	<p>①情報化の進展が人々の暮らしにもたらした恩恵を理解する。</p> <p>②健全な情報社会をつくり出すために必要なことを理解する。</p> <p>①情報化の進展に伴って生じた問題を理解する。</p> <p>①情報社会の中で暮らすために必要な注意点を理解する。</p> <p>②ネットワークが政治・経済・文化・生活をどのように変えていくか考える。</p> <p>③現代社会の問題の解決に情報化がどのように貢献できるか考え、情報通信社会を築くにあたって考えていかなければならないことについて自分自身でまとめる。</p>	<p>ノートとプリントへの記入・授業態度で評価する。</p>